

肉 用 牛 部 門

1. 本県肉用牛の動向

(1) 飼養戸数は、全国的に減少で推移しており、本県の場合も平成4年の370戸をピークに小規模経営を中心に減少してきた。平成24年2月1日現在の肉用牛飼養状況は、農林統計（農水省）によると、飼養戸数は84戸で前年に比べ2戸減少した。飼養頭数は平成6年の7,590頭をピークに減少傾向で推移している。平成19年には4,770頭と前年に比べ160頭の増加がみられ、平成20年も更に260頭増加したが、平成21年、22年には減少し、平成23年は4,730頭と20年から300頭減少している。平成27年は4,570頭と農家戸数減少にともない前年より90頭減少した。1戸当たりの飼養頭数は、平成5年まで20頭前後で推移していたが、以降徐々に増加している。平成27年は66.2頭であった。（表－1）

(2) 肉用子牛（素畜）の取引価格は、農畜産業振興機構によれば、平成26年度平均で、黒毛和種雄が604千円、前年比112.5%、黒毛和種雌が528千円、前年比114.2%、交雑種雄が355千円、前年比108.5%、乳用種雌が147千円で、前年比115.7%であった。

交雑種初生牛は140千円で前年比88.6%、乳用種初生牛は47千円で前年比90.4%であった。（表－2）

(3) 枝肉の規格別卸売価格は、農水省食肉統計、東京食肉市場調査では、去勢和牛のうち高品質のA5規格は、BSEの発生した13年度に大幅に低下した。その後、平成18年度までは回復傾向で推移し、平成12年度対比102.9%でBSE発生前の水準まで回復してきたが、平成20年度から下がりはじめ、平成21年のリーマンショック、平成23年のユッケ事件、そして未曾有の被害に見舞われた東日本大震災、東電原発事故による風評被害の影響もあって、平成23年度においては1,853円/kgと前年比88.8%まで落ち込み、平成12年度対比77.1%となっている。その後徐々に回復し、平成26年度においては、2,213円/kgと前年比103.7%であった。

A4規格では10年度以降低下傾向で推移し、13年度に大幅に低下した後には上昇傾向で、平成18年度には2,190円/kgでBSE発生前の平成12年度対比117.4%であったが、平成20年度から下がりはじめ、平成23

年度には前年比 88.4%と落ち込んだ。平成 26 年度においては、1,938 円/kg と前年比 102.6%まで回復した。

中級規格 A 3 についても同様で、は、13 年度に大幅に低下した後には上昇傾向で、平成 18 年度には 1,967 円/kg で平成 12 年度対比 131.1%と B S E 発生前の水準を大幅に上回ったが、平成 20 年度から下がりはじめ、平成 23 年度には前年比 77.1%になっている。平成 26 年度には 1,766/kg で前年比 102.4%であった。

交雑種去勢 B 3 規格は平成 23 年度に 826 円/kg と急激に落ち込み、その後徐々に回復し、平成 26 年度は 1,284 円/kg と前年比 102.8%であった。

乳用種去勢 B 2 規格は平成 23 年度に 458 円/kg と急激に下がり、その後徐々に回復し、平成 26 年度には 817 円/kg と前年比 104.2%であった。

全品種について前年度を上回り、東電原発事故前の平成 22 年度の水準までは回復している。(表-3)

しかし、高品質の黒毛和種 5 等級はリーマンショック前の平成 20 年度水準まで回復していない。黒毛和種 5 等級も平成 27 年度には回復すると思われるが、この相場回復は景気回復によるものではない。

繁殖牛の減少によるもと牛が高騰しているが、同様に出荷頭数の減少により枝肉価格が上昇している、しかし消費量が伸びていないことから枝肉相場の上昇は頭打ちであろう。大手量販店でも単価の高いロイン系が動かないため品ぞろえも切り落としやモモにシフトしている。

表-1 肉用牛飼養の推移

(単位:戸・頭)

年	戸数	総頭数	乳用種	交雑種	肉用種	
					繁殖牛	肥育牛
H3	360	7,220	3,070	1,990	880	1,280
H4	370	7,090	2,560	2,110	920	1,500
H5	340	7,250	1,720	2,880	950	1,700
H6	340	7,590	1,450	3,240	1,010	1,890
H8	270	7,110	1,340	2,690	800	1,890
H9	230	7,010	1,110	3,380	700	1,820
H10	230	6,820	660	3,760	680	1,720
H11	220	7,030	520	4,210	570	1,730
H12	200	7,090	340	4,550	480	1,720
H13	200	6,520	250	4,150	470	1,650
H14	190	6,400	320	4,000	400	1,680
H15	160	5,650	270	3,310	380	1,690
H16	136	6,230	200	3,640	420	1,890
H17	117	5,360	280	3,150	360	1,460
H18	108	4,610	270	2,160	280	1,380
H19	91	4,770	280	2,590	240	1,400
H20	97	5,030	250	2,810	320	1,560
H21	96	4,990	200	2,760	200	1,730
H22	86	4,940	170	2,420	310	1,820
H23	84	4,730	160	2,060	290	2,220
H24	82	4,740	160	2,090	320	2,050
H25	82	4,740	140	2,180	290	1,930
H26	79	4,660	160	2,260	270	1,970
H27	69	4,570	250	2,360	430	1,530

「農林統計」

(毎年2月1日現在)

2. 診断農家成績の分析概要

平成27年度畜産経営技術高度化促進事業実施にあたり肉用牛部門は、経営診断に基づく改善指導6戸、生産技術指導2戸、フォローアップ指導2戸の計10戸に対して支援指導を実施した。

このうち総合的に経営数値が把握できた2事例に加えて、後継者等育成支援等において技術成績が把握できた事例を加えた合計11事例について分析した。

(1) 診断農家の飼養規模 (表-4)

ア. 経営形態

2号と3号、6号、11号について肥育部門に繁殖和牛の一貫生産を取り入れている。素牛価格の高騰が続く中、4号、5号についても繁殖和牛導入の検討をはじめている。

肥育部門においては、黒毛和種の肥育専門経営が1号、2号、3号、4号、8号、9号、10号の7事例であった。このうち、8号は、県内の受精卵子牛を導入し、もと畜費の低減を図っている。また、10号は、黒毛和種雌若齢肥育で、残りの経営は去勢若齢肥育が主体であった。黒毛和種と交雑種を飼養している肥育経営は残りの5号、6号、7号、11号であった。

イ. 飼養規模

飼養規模については、肥育牛50頭以上100頭未満が5事例、50頭未満が2事例、100頭以上が4事例であった。

(2) 経営成果 (表-5)

ア. 費用

家族労働費を除いた総費用の各項目の割合は素畜費が45.1%、購入飼料費が28.3%、償却費が2.8%、その他一次生産費が11.6%、販売一般管理費及び営業外費用が12.2%で、素畜費と購入飼料費を合わせると73.4%と総費用の大部分を占めている。(図1)

肥育牛1頭当りの素畜費平均は307千円で前年の212千円を大幅に上回っている。

購入飼料費については平均195千円で前年が209千円でほぼ横ばいであった。

その他の一次生産費を合わせた当期生産費用の平均は575千円で前

年の 490 千円を大幅に上回っている。

イ. 収 益

肥育牛 1 頭当たりの肥育牛販売収入平均は 698 千円で前年の 608 千円と比較して大きく上回った。

同様に売上高の合計は平均 714 千円で、前年の 617 千円と比較して大きく上回った。

ウ. 所 得

肥育牛 1 頭当たりの所得平均は 112,661 円で、前年の 63,305 円を大きく上回った。

所得率は、平均 15.8%で、前年の 8.9%を大きく上回った。

費用の構成割合の高い素畜費と飼料費については、高騰が続いていることから、前年度を上回っている。売上高については、前年比では上昇しているため、所得についても増加している。

2つの経営を時系列で比較してみると（表－6）東日本大震災の起こった平成 23、24 年度で低迷した所得は、25 年になって徐々に上昇傾向にある。

しかし、23 年を境に、素畜費及び飼料費の増加が続いており数字上、資産はあるが実際には現金が無い状況が続いている。

(3) 生産性・収益性分析（黒毛和種去勢若齢肥育）（表－7）

（1 頭 1 日当たり増加額を肥育差益）

黒毛和種去勢肥育牛販売価格から素牛価格を差し引いた増加額について、9 事例について検討する。

4 等級以上の格付率は 100%から 55.1%と格差がみられ、平均は 86.0%で前年の 79.4%を上回った。

枝肉重量は、453 kgから 550 kgで平均 508.3 kgであった。前年度 505.0 kgで横ばい傾向であった。

枝肉単価は、1,732 円/kgから 2,211 円/kgまで格差がみられ、平均 2,004 円/kgで前年度平均 1,972 円/kgを上回った。

出荷日齢は 857.6 日から 982.8 日で、平均は 912.2 日で前年度の 930 日

を下回った。

素牛価格は最低は酪農家から受精卵移植子牛を4か月程度で導入している8号の300千円から最高は子牛市場導入の563千円で、平均464千円と前年度416千円を上回っている。受精卵移植により生産された子牛を導入している6号、8号を除くと平均489千円であった。

飼料費は280千円から381千円で、平均は315千円と前年度330千円を下回っている。

販売価格は790千円から1,189千円で、格差がみられ平均は1,025千円と前年度1,008千円を上回った。

販売価格から素牛価格を差引いた1頭当り増加額は428千円から677千円で大きな格差が見られた。平均560千円で前年の591千円を下回った。

肥育牛1頭当り増加額を飼養日数で除した1日1頭当り増加額は744円から1,059円と幅があり、平均864.2円で前年度平均925円を下回った。

肥育牛1頭当り増加額から飼料費を差引いた肥育差益については、104千円から396千円と幅があり、平均245千円で前年平均271千円を大きく下回った。

肥育牛1頭当り肥育差益を飼養日数で除した1日1頭当り肥育差益についても、162円から620円と格差があり、平均379.5円で前年度平均428円を大幅に下回っている。

素牛導入県である神奈川県において、長引く素牛価格高騰は経営を逼迫させている。そのような中、各経営において素牛価格についてコスト低減を図っている。27年度結果は、販売価格が増加したが、素牛価格の高騰により増加額は前年度を下回った。出荷月齢を短縮し飼料費低減を狙ったがまだ効果がみられず肥育差益についても、前年度を下回る結果となった。

3. 指導の方向と対策

肥育もと牛の価格の異常なまでの高値続きは、本県の肥育経営スタイルでは、優良なシステムを導入し少数精鋭で経営を維持していかなければならいため、その

影響は倍増され、あいかわらず高い肥育もと牛を導入せざるを得ない状況が続いている。飼料の価格の高値も続いており、生産費の約 7 割を占めるもと牛価格と飼料価格の高騰に加えてリーマンショック以来続く慢性的な牛肉消費の低下による牛枝肉価格の低迷はじりじりと経営の体力を奪っている。平成 22 年の口蹄疫の発生、平成 23 年 3 月の東日本大震災の影響は大きい。慢性的な肉用子牛の不足は、長引く子牛の高騰という現象を生んでいる。

(1) 収益性の向上

高い肥育もと牛、飼料価格の高騰という状況下で収益性向上のための対策を早急にとらなければならない。

費用の低減としては事例にもみられるが繁殖一貫生産を取り入れることによる素畜費の低減が考えられる。しかし繁殖和牛の飼養管理の技術面や繁殖部門が軌道に乗るまでの資金の回収等難しい面もある。酪農家と連携して ET や体外受精卵移植の子牛を導入する方法も考えられる。一貫生産にもいえることだが、この場合、子牛の哺育期・育成期の管理技術が課題となる。また、地域内での子牛流通体制を確立するためには行政・関係機関の協力が不可欠である。

購入飼料費の低減については、肉質及び増体を目指しながらトウモロコシ、ビール粕を配合飼料と混合した独自の飼料給与技術をつちかしてきたが、今後、配合飼料価格上昇に対して更に研究を進め食品製造副産物の利用を推進していかなければならない。農家個々での原材料の収集が困難になってくることも予測されることから、行政・関係機関の協力が重要となってくるであろう。

販売収入の増加による収益性向上だが、枝肉重量を増やして販売価格を増加させることが考えられる。年々出荷体重が増加してきていることは先に述べたが、最近の食肉市場では和牛去勢でも枝肉重量 500 kg 以上があたりまえになっている。600 kg 以上だと大きすぎて卸売業者に嫌われるが、交雑種においては枝肉重量をいかに確保するかが重要な課題となる。黒毛和種の去勢では 520kg から 540 kg、雌でも 450 kg を目指したい。

また、黒毛和種の場合、適正な価格で高品質、枝肉重量のする肥育素牛を導入し肥育コストの節減を図ることである。生産コストを低減するには、肥育期間の短縮も重要な要素の一つであるが、肉質とのバランスを考慮しながら一日当たりの増体重を向上させ、肉量・肉質をより短期間で作る技術が必要である。

(2) 販売対策

今回の経営分析結果にみられるように順調に所得を伸ばしている経営も存在している。これらは高品質牛肉生産に努力し実行してきた経営である。消費者

は「安全」で「安心」できる食料を求めている。家畜個体識別システムをはじめ牛トレーサビリティシステム等、生産者、行政、畜産業界一丸となって努力して「安全」については確保している。次のステップはいかに消費者に「安心」してもらいかである。消費者は生産者の顔が見える食品を求め、地産池消のニーズが以前に増して強くなっている。これは大消費地をかかえる本県にとってチャンスでもある。規模拡大によるスケールメリットを追求できない本県においては、地元の「安全・安心」に注目した販売戦略も今後の生き残り対策の一つである。

まずは、インバウンド対策、2020年東京オリンピック・パラリンピックといった近々の販売チャンスを逃さないように生産者、関係機関、関係団体が知恵を絞らなければならない。

4. 経営診断分析図表

表-2 肉用子牛価格

単位:千円

年度	黒毛和種		交雑種	ホルスタイン	初生牛		
	雌	雄	雄	雄	乳用種	交雑種	神奈川※
H5	276	363	116	92	54	67	51
H10	326	411	186	72	18	69	50
H11	332	417	159	59	24	64	48
H12	343	423	208	87	47	96	77
H13	301	360	181	68	38	88	67
H14	344	411	220	68	53	113	86
H15	375	447	241	51	42	113	85
H16	417	494	259	66	40	113	95
H17	447	522	285	98	37	133	107
H18	466	544	291	116	41	150	110
H19	447	526	200	99	33	95	75
H20	350	416	128	87	28	77	56
H21	324	392	248	85	30	112	80
H22	358	417	246	83	39	135	103
H23	366	428	188	90	36	105	88
H24	381	452	256	92	39	113	145
H25	463	537	327	127	52	158	143
H26	528	605	354	147	46	160	
H27	641	728	425	224			

「農畜産業振興機構調査」※神奈川は「神奈川県家畜市場」調べ(乳用種・交雑種込み)

表-3 牛肉卸売価格

単位:円/kg

区分	去勢和牛「A-5」		去勢和牛「A-4」		去勢和牛「A-3」	
	価格	前年比(%)	価格	前年比(%)	価格	前年比(%)
H5	2,618	99.0	1,946	96.1	1,511	97.6
H10	2,439	99.7	1,946	98.8	1,617	97.5
H11	2,425	99.4	1,883	96.8	1,518	93.9
H12	2,402	99.1	1,865	99.0	1,500	98.8
H13	2,182	90.8	1,600	85.8	1,235	82.3
H14	2,192	100.5	1,771	110.7	1,523	123.3
H15	2,346	107.0	1,963	110.8	1,733	113.8
H16	2,370	101.0	2,086	106.3	1,917	110.6
H17	2,451	103.4	2,166	103.8	1,981	103.3
H18	2,478	101.1	2,190	101.1	1,967	99.3
H19	2,464	99.4	2,131	97.3	1,836	93.3
H20	2,318	94.1	1,908	89.5	1,584	86.3
H21	2,186	94.3	1,757	92.1	1,500	94.7
H22	2,087	95.5	1,716	97.7	1,507	84.4
H23	1,853	88.8	1,518	88.4	1,271	77.1
H24	1,971	106.5	1,704	112.3	1,525	120.1
H25	2,138	108.5	1,888	110.8	1,725	113.2
H26	2,213	103.5	1,938	102.6	1,766	102.4

区分	交雑種去勢牛「B-3」		乳用種去勢牛「B-2」		乳用種めす牛「C-1」	
	価格	前年比(%)	価格	前年比(%)	価格	前年比(%)
H5	1,221	98.9	751	93.5	224	68.7
H10	1,280	92.1	589	76.6	196	63.2
H11	1,199	93.7	602	102.2	207	105.6
H12	1,236	103.1	781	129.7	318	153.6
H13	753	60.9	274	35.1	272	85.5
H14	1,115	148.1	528	192.7	213	78.3
H15	1,260	113.0	628	118.9	314	147.4
H16	1,419	112.6	805	128.2	407	129.6
H17	1,508	106.3	846	105.1	379	93.1
H18	1,439	95.4	860	101.7	363	95.8
H19	1,336	92.8	748	87.0	422	116.3
H20	1,217	91.1	780	104.3	431	102.1
H21	1,133	93.1	742	95.1	289	67.1
H22	1,198	105.7	655	88.3	280	96.9
H23	826	77.1	458	70.0	284	101.4
H24	1,108	110.4	640	136.7	276	97.9
H25	1,249	112.8	784	122.6	459	166.9
H26	1,284	102.8	817	104.2	564	122.9

農水省「食肉流通統計」・東京食肉市場(株)

表-4 診断農家の飼養規模(労働員数1人当り)

項目		1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	8号	9号
飼養頭数	肥育 黒毛和種	90.0	40.0	30.0	70.0	72.5	50.0	14.0	33.3	18.0
	交雑種	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	65.0	76.4	20.0	0.0
	乳用種	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0
	計	90.0	40.0	30.0	70.0	75.0	118.0	90.4	53.3	18.0
	繁殖和牛	0.0	5.0	2.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0
	子牛育成	0.0	4.0	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
販売頭数	肥育 黒毛和種	47.5	21.0	15.0	35.0	36.3	25.0	7.0	16.7	9.0
	交雑種	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	32.5	38.2	10.0	0.0
	乳用種	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0
	計	47.5	21.0	15.0	35.0	38.3	59.0	45.2	26.7	9.0
	肥育もと牛	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図1 生産費構成割合

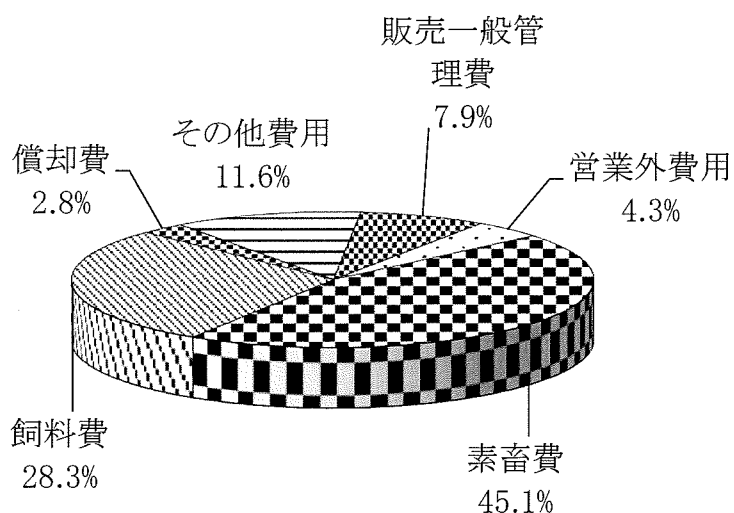


表5 肥育牛1頭当たり収益性

項目	1号	2号	平均	25年度平均	24年度平均	23年度平均	22年度平均	16年度平均	14年度平均	13年度平均
肥育牛販売収入	712,539	685,242	698,891	608,455	604,334	446,205	546,464	562,009	374,192	326,353
育成牛販売収入	0	0	0	0	0	0	0	22,374	12,379	4,333
堆肥販売収入	10,067	20,847	10,305	8,667	8,443	14,069	8,038	15,206	12,295	9,527
計	722,606	706,090	714,348	617,122	612,777	460,274	554,502	599,590	398,866	340,214
種付料	0	2,357	1,179	655	980	415	812	1,173	635	1,927
素畜費	344,472	271,521	307,997	212,509	251,885	179,912	230,128	247,597	168,222	115,434
購入飼料費	159,566	230,893	195,230	209,869	173,169	144,307	168,824	165,796	140,903	141,385
敷料費	3,391	3,176	3,284	3,341	2,704	1,640	3,313	5,140	4,452	5,556
雇用労働費	7,367	0	3,683	7,408	7,660	8,340	23,968	4,425	2,721	3,394
診療・医薬品費	10,388	19,751	15,069	10,849	10,761	6,086	9,783	8,445	5,702	6,425
水道光熱費	2,804	7,616	5,210	6,709	4,933	4,743	4,067	7,166	4,998	4,782
燃料費	2,804	7,616	5,210	6,709	4,933	7,255	4,067	8,301	4,695	4,835
減価償却	26,937	4,421	15,679	20,921	12,064	14,083	13,135	8,106	6,620	9,688
建物構築物	0	8,567	4,284	0	7,063	981	2,292	11,617	5,961	4,671
器具車両	0	6,464	3,232	0	1,519	849	2,427	654	1,372	2,496
繁殖牛	26,937	19,452	23,195	20,921	20,647	15,914	17,854	20,376	13,954	16,855
小計	9,769	16,078	12,923	10,382	10,991	6,025	12,160	8,097	6,335	7,622
修繕費	0	0	0	239	779	408	0	2,310	1,312	1,054
賃料金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他費用	2,525	2,212	2,369	1,266	1,298	2,776	893	4,826	4,209	7,925
当期生産費用計	570,023	580,673	575,348	490,857	490,740	377,821	475,869	483,653	358,138	317,194
期中飼養牛評価額	670,322	638,291	654,306	583,025	496,519	441,453	655,017	566,381	424,185	407,928
期中振替額	0	13,918	6,959	0	0	0	0	0	997	0
期末飼養牛評価額	754,304	648,117	701,211	585,001	475,324	402,966	671,077	624,129	452,714	428,184
売上原価	486,041	556,929	521,485	488,882	511,935	416,309	459,809	425,905	328,611	296,938
副産物評価額	10,067	20,847	15,457	8,667	8,443	14,069	8,038	15,206	12,295	9,527
生産原価	475,975	536,081	506,028	480,215	503,491	402,240	451,771	410,699	316,317	287,411
売上総利益	236,564	149,161	192,863	128,240	100,843	43,965	94,693	173,685	70,255	43,275
販売経費	51,595	40,119	45,857	27,168	42,474	27,429	39,551	36,446	16,949	14,498
販売一般管理費計	77,818	109,456	93,637	62,124	82,465	56,806	60,695	78,101	36,918	44,383
営業利益	158,746	39,705	99,226	66,116	18,378	-12,841	33,998	95,584	33,336	-1,108
奨励金・補てん金	0	0	0	0	0	25,076	41,447	13,122	86,389	40,384
営業外収益計	1,945	71,043	36,494	43,236	30,641	29,535	49,355	31,735	92,947	45,127
基金積立金	9,000	9,000	9,000	13,813	8,992	8,020	6,715	4,272	10,779	6,020
営業外費用計	18,490	27,627	23,058	46,048	29,722	19,437	14,223	5,217	28,211	7,842
当期純利益(所得)	142,201	83,121	112,661	63,305	19,297	-2,742	69,130	122,102	98,072	36,177
所得率	19.7%	11.8%	15.8%	8.9%	3.1%	-3.0%	12.5%	20.4%	24.6%	10.6%

表6 肥育牛1頭当たり収益性 (時系列比較)

項目	1号26年	1号25年	1号24年	1号22年	2号26年	2号25年	2号24年	2号23年	2号22年
肥育牛販売収入	712,539	667,298	591,753	505,235	685,242	615,097	680,712	570,183	604,673
育成牛販売収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
堆肥販売収入	10,067	10,000	10,208	9,537	20,847	16,000	15,122	14,071	14,578
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	722,606	677,298	601,961	514,772	706,090	631,097	695,834	584,254	619,252
種付料	0	0	0	136	2,357	1,965	2,940	2,077	2,300
素畜費	344,472	313,678	259,324	239,131	271,521	296,316	240,901	165,513	284,790
購入飼料費	159,566	148,202	148,211	160,741	230,893	220,618	196,240	200,728	176,220
敷料費	3,391	3,556	3,439	3,240	3,176	2,133	2,213	1,863	1,836
家族労働費	33,000	33,333	33,803	32,397	80,000	80,000	80,000	74,534	73,439
雇用労働費	7,367	7,139	14,748	53,259	0	673	673	323	73
診療・医薬品費	10,388	9,384	5,133	8,380	19,751	12,567	19,019	16,181	16,313
水道光熱費	2,804	2,591	2,635	2,589	7,616	7,179	6,859	5,737	6,027
燃料費	2,804	2,591	2,635	2,589	7,616	7,179	6,859	5,737	6,027
減価償却	26,937	24,646	25,652	30,238	4,421	12,962	8,320	7,751	7,637
建物構築物	0	0	0	3,510	8,567	0	7,215	4,906	2,096
器具車両	0	0	0	0	6,464	0	4,558	4,247	4,185
繁殖牛	26,937	24,646	25,652	33,748	19,452	12,962	20,093	16,905	13,918
小計	9,769	5,639	10,790	7,154	16,078	10,708	18,452	9,087	22,256
修繕費	0	716	2,336	0	0	0	0	0	0
賃料料金	2,525	357	540	419	2,212	1,357	84	325	1,147
その他費用	603,023	551,831	509,245	543,781	660,673	653,657	594,332	499,012	604,346
当期生産費用計	670,322	593,018	615,031	690,851	638,291	520,601	569,636	582,037	518,644
期首飼養生評価額	0	0	0	0	13,918	0	0	0	0
期中振替額	754,304	661,561	601,370	717,318	648,117	595,738	520,601	530,717	573,489
期末飼養生評価額	519,041	483,288	522,905	517,314	636,929	578,520	643,368	550,332	549,502
売上原価	10,067	10,000	10,208	9,537	20,847	16,000	15,122	14,071	14,578
副産物価額	508,974	473,288	512,697	507,777	616,082	562,520	628,246	536,262	534,924
生産原価	203,565	194,010	79,056	-2,542	69,161	52,577	52,466	33,922	69,749
売上総利益	51,595	52,164	44,770	41,047	40,119	23,657	46,443	40,545	39,950
販売経費	77,818	67,472	58,920	75,987	109,456	40,082	118,625	94,569	52,141
販売一般管理費計	125,747	126,538	20,136	-78,529	-40,295	12,495	-66,158	-60,647	17,608
営業利益	0	0	0	41,962	0	0	0	18,896	31,966
奨励金・補てん金	1,945	25,215	27,056	47,190	71,043	46,681	32,533	39,225	50,461
営業外収益	9,000	8,850	8,975	6,317	9,000	9,000	9,000	7,436	5,875
基金積立金	18,490	41,706	16,654	6,513	27,627	16,269	44,096	9,427	17,793
営業外費用	109,202	110,047	30,538	-37,852	3,121	42,907	-77,721	-30,849	50,276
当期純利益	142,201	143,380	64,341	-5,454	83,121	122,907	2,279	43,685	123,715
所得									

表7 1頭1日当たり増加額と肥育差益(黒毛和種去勢)

農家番号	4等級以上	枝肉重量 (kg)	枝肉単価 (円)	出荷日齢 (日)	素牛価格 (円)	飼料費 (円)	販売価格 (円)	1頭当 増加額 (円)	1頭当 肥育差益 (円)	1日1頭当 増加額 (円)	1日1頭当 肥育差益 (円)
1	94.1	536.0	2,211	922.0	511,576	280,865	1,189,245	677,669	396,804	1,059	620
2	96.6	534.0	2,211	892.8	563,090	303,017	1,182,506	619,416	316,399	1,022	522
3	85.7	550.0	1,893	982.8	440,000	366,000	1,032,021	592,021	226,021	809	309
4	96.6	492.0	1,989	885.9	463,069	309,000	978,699	515,630	206,630	834	334
5	83.9	488.0	1,931	907.1	444,021	323,000	945,807	501,786	178,786	777	277
6	55.1	453.0	1,732	906.2	361,948	323,500	790,275	428,327	104,827	662	162
7	97.8	539.0	1,994	930.2	519,610	330,467	1,076,360	556,750	226,283	842	342
8	62.5	483.0	1,850	870.4	300,000	381,000	897,874	597,874	216,874	786	285
9	100.0	497.0	1,926	857.6	487,111	314,500	955,048	467,937	153,437	744	244
平均	86.0	508.3	2,004	912.2	464,809	315,034	1,025,010	560,202	245,168	864.2	379.5
25年度	79.4	505.0	1,972	930	416,526	330,006	1,008,259	591,734	271,763	925	428
24年度	79.7	518.6	1,849	941	463,102	320,073	960,266	497,164	177,091	762	271
23年度	75.1	509.9	1,720	896	446,321		886,932	440,611		695	
22年度	76.8	518.6	1,841	913	474,899		969,729	494,831		776	
21年度	77.6	532.5	1,960	923	601,753		1,056,917	455,163		718	
20年度	77.6	512.2	2,081	922	588,827		1,087,183	498,357		785	
19年度	79.4	511.0		915	586,896		1,194,890	607,994		951	
18年度	77.2	514.0	2,471	936	517,825	271,701	1,271,442	753,617	481,917	1,156	740
17年度	79.7	509.0	2,542	947	492,284	270,285	1,297,045	804,761	534,476	1,218	811
16年度		502.0	2,419	940	462,265	270,102	1,217,444	755,179	485,076	1,139	731
15年度		492.0	2,102	925	434,541	259,989	1,035,543	601,001	341,043	948	538
14年度		479.0	1,980	949	459,613	234,043	951,287	491,675	257,632	757	394
13年度		484.0	1,718	919	418,052	219,010	832,699	414,647	195,637	659	313